



東濃地区の子育て・親育ち通信
家庭教育なう No.11

2024年1月発行 TEL 0573-26-1111(内線 209)
 恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 大島 FAX 0573-25-7129
 〒509-7203 恵那市長島町正家後田 1067-71 MAIL oshima-akihiro@pref.gifu.lg.jp

家庭教育「なう」は、恵那県事務所のHPからご覧いただくことができます。 QRコード→ 

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈いします。

各園、各校の家庭教育学級長(委員長)におかれましては、様々な型での家庭教育学級を企画、運営し家庭教育を推進していただき、ありがとうございました。そろそろ来年度を見据えて、活動のまとめに取り組んでみえるところだと思います。ぜひ、今年の成果、ご自身の手応え等、後任の方へ引き継いでいけるとよいと思います。私も取材を通して感じたことを「家庭教育学級」推進の視点として3点にまとめてみました。今後の見通しと合わせて、以下にお知らせします。

「家庭教育学級」推進の視点 (東濃地区家庭教育推進専門職の振り返りから)

- 1) できるだけ多くの人に参加してほしい
- 2) 保護者同士が自然につながる
- 3) 家に帰って子どもと話したくなる、やってみたくなる

*一年間役員として活動した感想とともに、周りの方にお伝えください。



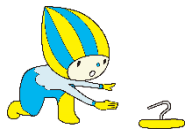
「閉級式」について


家庭教育学級の閉級式を実施される学校や園では、ぜひサロン型で自分の子育てを振り返る機会にさせていただくとよいと思います。今年できた家庭教育の成果や親同士のつながり確かめることで、きっと多くの皆さんが「来年もみんなと学びたい。」という思いになれると思います。

次年度への引き継ぎの参考に









以下に令和4年度岐阜県下で行われた代表的な家庭教育学級の例を紹介します。また、この通信「家庭教育なう」のバックナンバーからも事例を見ることができます。次年度の計画を立てる時に参考にしてみてもいいでしょうか。

HP(web)上でクリックすると詳細がわかります。



家庭教育学級取組紹介 もくじページ
 平成27年度から令和4年度までの取組を紹介 

組み合わせ型、体験活動型、サロン型

学習課題(分野)	実践を紹介した学校・市
 防災研修(命の大切さ) [PDFファイル/382KB]	山県市立高富中学校
 思春期って何?どうするの?から明日の自分がほめてくれる今日から(自立心・家族の大切さ) [PDFファイル/510KB]	郡上市立明宝中学校
 お子さまの持ち物に心を配っていますか?(家族の大切さ・基本的な生活習慣) [PDFファイル/398KB]	みたけ幼稚園
 授業参観+講演「就学を前に今大切にしたいこと」(家族の大切さ・思いやり) [PDFファイル/393KB]	中京こども園
 みんなで家庭教育!親子関係を見つめよう(家族の大切さ・思いやり) [PDFファイル/476KB]	下呂市立竹原中学校
 親子料理教室「アルミ缶炊飯」(命の大切さ) [PDFファイル/335KB]	各務原市立鶴沼第一小学校
 オンライン給食参観(基本的な生活習慣・命の大切さ) [PDFファイル/560KB]	関市立桜ヶ丘小学校
 子連れ防災(命の大切さ) [PDFファイル/440KB]	中津川市

土岐市立西陵中学校 PTA 教育講演会 「笑って考えよう!身近な人権」

日時 令和5年11月16日(木) 14:20~15:10
場所 多治見市立西陵中学校 体育館
講師 落語家 切磋亭琢磨 さん
参加者 全生徒(在籍数309人)、保護者

生徒と一緒に人権感覚を高める機会に!



土岐市立西陵中学校では毎年秋に、同校PTA 母親委員会が主催して家庭教育講演会を企画しています。今年度は3年ぶりに、1年生から3年生まで全生徒でお話を聴く機会を設けました。講師は、落語家の切磋亭琢磨さん。中学生の中には、初めて落語を聴くという生徒もありました。落語を通して人権について学びました。

母親委員長の挨拶



< 切磋亭琢磨さんのご講演 一部紹介します >

はじめに

「みんな、落語を聴くときに大事なことって何か知ってる?」 生徒:「笑う!」
「そのとおり、でもまだあるんだ。わかるかな…(間)」
「それはなあ。頭使って、想像しながら、考えて聴くってということなんや。」

落語

小話をいくつか披露していただきました。中学生がこの「落語の笑い」をどこまで感じられるのか、興味がある部分でした。しかし、ちゃんと「落ち」のところで「笑い」が起こりました。さすがプロの技だと感じ入りました。

人権

「あなたは自分が好きですか。」の問いの後に、人権を大切にするためには、まず、自分を好きになることが大事です。と話され、そのために大切なことを3つ紹介されました。

- 1 人に親切にする
- 2 悪口は言わないで人をほめる
- 3 感謝する

この3つの行為には、共通する言葉があります。それは、「優しい」ということです。優しさに秀でることを「優秀」と言います。

教え子 やすゆきくんの話

「みなさんは、なんで人権の勉強をするのだと思いますか。」会場を見渡して…
「私は、みんなが『しあわせ』になるために人権の勉強をするのだと思います。」

代表生徒のお礼の言葉



副母親委員 お礼の言葉



【このよさを学びたい!】

・全学年生徒と保護者でお話が聞ける機会はなかなかありません。今回は親子で同じ場で話を共有しているので、家に帰ってからコミュニケーションがとりやすいと思います。例えば、「講師の方が、『落語面白かったですか?』って聞いていたけど、あなたはどっちに手をあげたの?」など親子のコミュニケーションのきっかけづくりになります。

恵那市立恵那西中学校 合唱祭 PTA 家庭教育委員会 「コールウエスト」

日時 令和5年12月7日(木) 13:00~15:50
場所 恵那市文化センター 大ホール
参加者 生徒、保護者 約800人

鳴りやまない生徒からの拍手 圧巻の合唱を届ける

恵那市立恵那西中学校では毎年秋に、合唱祭を行っています。今年度生徒たちは「魅せる」をスローガンに仲間づくりを大切に、「歌声づくり」にも力を入れてきました。その集大成の場として合唱祭が行われました。

その合唱祭で、長年にわたって「コールウエスト」(保護者教職員有志チーム)が合唱を子どもたちに披露してきました。このコールウエストを組織しているのが、同校 PTA 家庭教育委員会です。保護者、職員の有志を募り、合唱祭で歌声を披露し、生徒たちに応援メッセージを発してきました。ただ、この3年間はコロナ禍ということもあって、コールウエストとしての活動は見送られてきましたが、今年は4年ぶりに復活して、生徒と同じ舞台上で合唱を披露しました。



生徒 学年合唱



コールウエスト 合唱

Q 4年ぶりのコールウエスト復活でしたが?

A 4月に計画を立てるときは、合唱を行うかどうか、話し合いましたが、みなさん前向きな方が多く「やろう」という意見でまとまりました。私をはじめ、本部役員の中にも恵那西中学校を卒業した保護者も多く、これまでの恵那西中 PTA の伝統を受け継ぎたいという思いもありました。

Q 生徒の前で合唱をするというのは、大変ではありませんでしたか?(練習は夜間に5回あったそうです)

A やはり、親も楽しんでやるということではないでしょうか。負担感には感じませんでした。合唱も有志ということで、やれる人がやるということで、強制はしていません。呼びかけたところ趣旨に賛同して、本当にたくさんの方(50名)に集まっていただき、今日の本番に臨めました。

<素敵な合唱祭でした(専門職の感想)>

コールウエストとして、選んだ曲は「カイト」でした。2020年、そしてその先の未来に向け、これからの時代を担っていく若い世代を応援するNHK2020ソングとして、嵐と米津玄師さんによって制作されました。渡邊家庭教育委員長にとっても思いの詰まった曲だそうです。…母は言った「泣かないで」と父は言った「逃げていい」と…と心に染みわたる歌詞と調和のとれたメロディー、優しく、力強く心を揺さぶる歌声で会場が満たされました。合唱が終わると、生徒からの拍手が強く、長く続き、途切れることがありませんでした。熱い拍手が感動を表現していました。

【このよさを学びたい!】

・生徒は合唱祭に向けて、真剣な取り組みを行っています。親・先生も同じように、真剣に合唱に取り組みます。この相乗効果が、すばらしい感動を生み出します。同じ体験、同じ感動を分かち合ったものはそのつながりが強くなると思います。参加した生徒、保護者、職員の絆が深まったことと思います。正に伝統の力だと思いました。